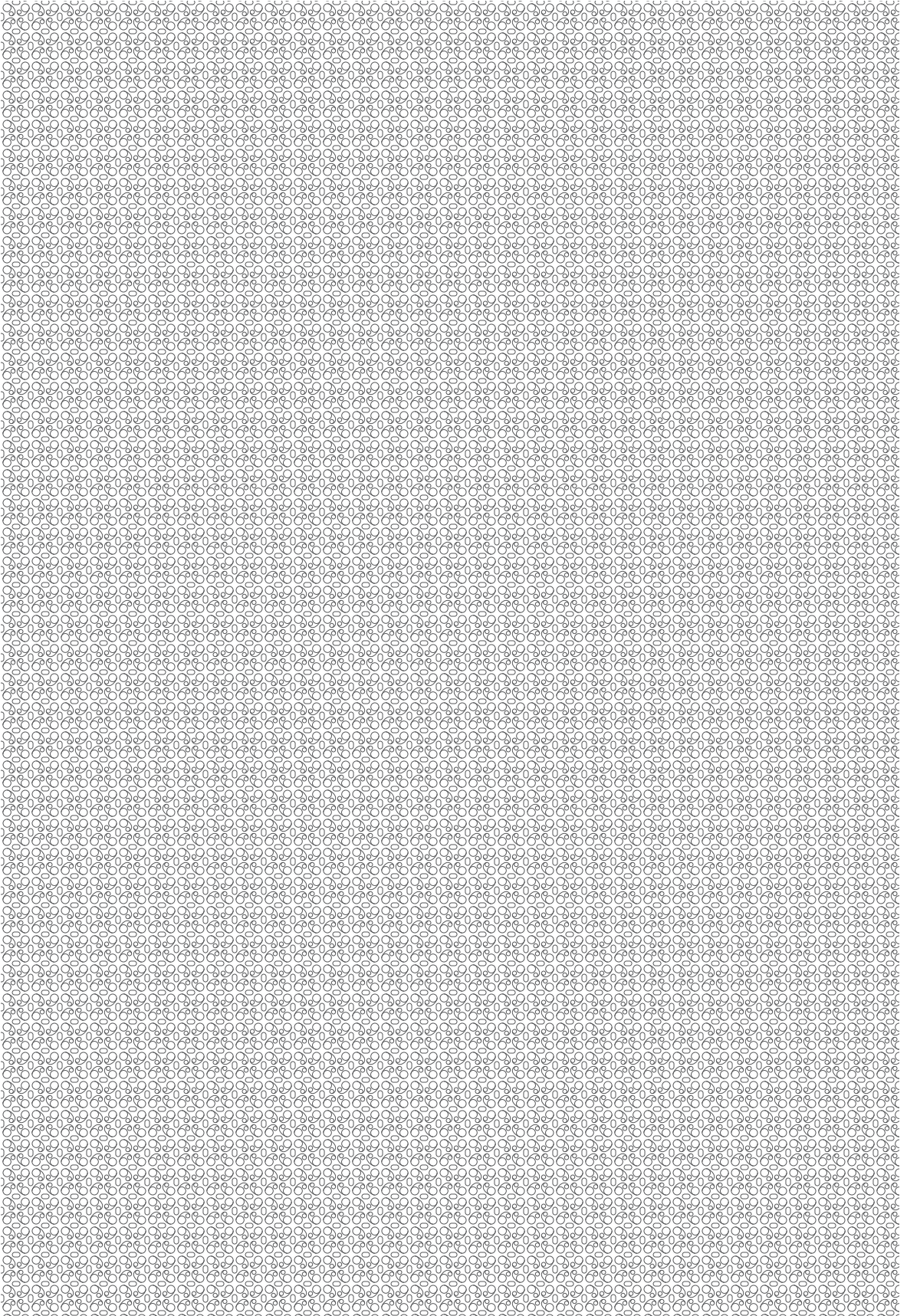


2026年度入学試験問題

世界史

(試験時間 13:15～14:15 60分)

1. この問題冊子が、出願時に選択した科目のものであることを確認のうえ、解答してください。
2. 解答用紙は、マーク解答用紙のみです。
3. 解答は、必ず解答欄にマークしてください。解答欄以外にマークすると無効となります。
4. 解答は、HBの鉛筆またはシャープペンシルを使用し、訂正する場合は、プラスチック製の消しゴムを使用してください。特に、一度マークした箇所を修正する場合、しっかりと消してください。消し残りがあると、解答が無効となることがあります。また、消しくずを残さないでください。
5. 解答用紙を折り曲げたり、汚したりしないでください。
6. 解答用紙には、必ず受験番号と氏名を記入・マークしてください。未記入や記入・マークミスなどがあった場合は、当該科目の解答は無効になります。



I 次の文章を読んで、下記の設問に答えなさい。(34点)

エジプト新王国のラメス（ラメセス）2世の時代に建てられたアブシンベル神殿は、1950年代にエジプトでアスワン=ハイダム^①の建設計画が進められたことによって水没の危機にさらされた。これに対し、ユネスコ（国際連合教育科学文化機関、UNESCO）は遺跡群の救済キャンペーンを展開し、国際協力によってアブシンベル神殿はダム建設の影響を受けない場所へ移築された。この動きがきっかけとなって、人類共通のかけがえのない財産である「世界遺産」という考え方が広がり、1972年にユネスコ総会で「世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約」（世界遺産条約）が採択された。世界遺産は文化遺産・自然遺産・複合遺産の3種類に分類され、世界各地で1000件以上の世界遺産が登録されている。

ヨーロッパでは、古代ギリシア^②や古代ローマ^③に関連する遺跡や、中世ヨーロッパ世界で基調となったキリスト教に関連する教会建築など、さまざまな世界遺産が登録されている。中世に発達した都市に関連するものもみられ、都市同盟の盟主となった「ハンザ同盟都市 」や、毛織物業で発展したフランドル地方の「 歴史地区」などが世界遺産に登録されている。また、フランスのルイ^④14世の時代に建てられた「ヴェルサイユの宮殿と庭園」、フリードリヒ2世が建てたサンソーシ宮殿やポツダム会談が開催されたツェツィーリエンホーフ宮殿を含む「ポツダムとベルリンの宮殿群と公園群」など、各国の宮殿も世界遺産に登録されている。

イスラーム世界では、モスクなどのイスラーム建築が世界遺産に登録されているが、各地の文化とイスラーム文化が融合した建築物もみられる。このうち、ムガル帝国^⑤の第5代皇帝シャー=ジャハーンが愛妃のムムターズ=マハルのために建設したインドの「タージ・マハル」は、インド=イスラーム建築の傑作とされる。インドでは仏教に関連する遺跡も多くみられ、ガウタマ=シッダールタが悟りを開いた地とされる「ブッダガヤの大菩提寺」や、アショーカ王が築いたストゥーパ（仏塔）で知られる「サーンチーの仏教建造物群」などが世界遺産に登録されている。古くからインドや中国の影響を受けた東南アジアにおいても、仏教やヒンドゥー教に関連する世界遺産^⑥

が登録されている。中国では60件もの世界遺産が登録されており、「万里の長城」や「秦の始皇陵」、かつて紫禁城とよばれた故宮を含む「北京と瀋陽の明・清朝の皇宮群」などが有名である。

アメリカ合衆国では、アメリカ独立戦争に際し、独立宣言が採択されたフィラデルフィアの「独立記念館」や、アメリカ独立100周年を祝ってフランスから贈られたニューヨークの「自由の女神像」などが世界遺産に登録されている。中南米諸国では、先住民文明に関係する遺跡が世界遺産に登録されており、メキシコの「古代都市テオティワカン」や、アステカ王国の首都テノチティトランの地につくられた「メキシコ・シティ歴史地区とソチミルコ」、インカ帝国の首都であった の「クスコ市街」などが有名である。

世界遺産のうち、戦争や虐殺など人類の犯した過ちを伝える遺跡を「負の世界遺産」と称することがある。奴隷貿易の拠点となったセネガルの「ゴレ島」、先住民の過酷な労働が行われたポトシ銀山があった の「ポトシ市街」、ナチス=ドイツがユダヤ人を虐殺した の「アウシュヴィッツ・ビルケナウ ナチスドイツの強制絶滅収容所（1940-1945）」、第二次世界大戦中、原爆の被害を受けた日本の「原爆ドーム」などが知られる。

世界遺産のうち、武力紛争や自然災害、都市開発などによって危機にさらされているものは、「危機にさらされている世界遺産リスト（危機遺産リスト）」に登録される。民族紛争などを理由とする「エルサレムの旧市街とその城壁群」や、崩壊や盗掘などを理由とするアフガニスタンの「パーミヤン渓谷の文化的景観と古代遺跡群」のほか、2023年にはロシアの軍事侵攻による破壊を理由として の「リヴィフ歴史地区」や「オデーサ歴史地区」などが危機遺産リストに登録された。

【設問Ⅰ】 ・ に入る適切な都市名を選択肢(a)～(e)から1つずつ
選びなさい。

- (a) フィレンツェ
- (b) ブリュージュ
- (c) リューベック
- (d) フランクフルト
- (e) アウクスブルク

【設問Ⅱ】 ・ に入る適切な国名を選択肢(a)～(e)から1つずつ選
びなさい。

- (a) ペルー
- (b) アルゼンチン
- (c) コロンビア
- (d) ボリビア
- (e) ブラジル

【設問Ⅲ】 ・ に入る適切な国名を選択肢(a)～(e)から1つずつ選
びなさい。

- (a) ポーランド
- (b) リトアニア
- (c) ウクライナ
- (d) ルーマニア
- (e) ベラルーシ

【設問Ⅳ】 下線部①～①に関する以下の問に答えなさい。

問1 下線部①に関連して、アスワン=ハイダムに関する記述として正しいものを1つ選びなさい。なお、該当するものがない場合は(e)を選びなさい。

- (a) エジプトのナセル大統領は、イギリスなどがアスワン=ハイダムの建設費の援助を拒否すると、建設資金を確保するためにスエズ運河の国有化を宣言した。
- (b) エジプトのナセル大統領は、ソ連などがアスワン=ハイダムの建設費の援助を拒否すると、建設資金を確保するために石油の国有化を宣言した。
- (c) エジプトのモサッデグ（モサデグ）大統領は、イギリスなどがアスワン=ハイダムの建設費の援助を拒否すると、建設資金を確保するためにスエズ運河の国有化を宣言した。
- (d) エジプトのモサッデグ（モサデグ）大統領は、ソ連などがアスワン=ハイダムの建設費の援助を拒否すると、建設資金を確保するために石油の国有化を宣言した。

問2 下線部②に関連して、ギリシアの世界遺産（世界遺産の名称は正しいものとする）に関する記述として誤っているものを1つ選びなさい。なお、該当するものがない場合は(e)を選びなさい。

- (a) 「ミケーネとティリンスの古代遺跡群」は、ドイツのシュリーマンによって発掘されたミケーネ文明の遺跡で、巨石でできた城塞のある王宮を特徴とする。
- (b) 「デルフィの古代遺跡」には、ギリシアの各ポリスが重要事項を決定する際に参考にした神託で有名であったアポロン神殿の遺構がある。
- (c) 「アテネのアクロポリス」には、フェイディアスが再建工事に携わったドーリア式のアテナ女神神殿であるパルテノン神殿が建てられた。
- (d) 「デロス島」には、ペルシアの再侵攻に備えて結成されたデロス同盟の本部がおかれたが、のちに同盟の金庫はアテネに移された。

問3 下線部③に関連して、ローマ帝国の最大版図に含まれた地域の世界遺産（世界遺産の名称は正しいものとする）に関する記述として誤っているものを1つ選びなさい。なお、該当するものがない場合は(e)を選びなさい。

- (a) フランス南部の「ポン・デュ・ガール」は、ローマ時代に建設されたガール水道橋で、ローマが土木建築技術に優れていたことがうかがえる。
- (b) ローマ帝国の境界となったライン川・ドナウ川沿いのデンマーク、スロヴァキアなどの国では、「ローマ帝国の国境線」が世界遺産に登録されている。
- (c) 「バチカン市国」には、カトリック教会の総本山であるサン・ピエトロ大聖堂があり、その設計・建築にはブラマンテ、ラファエロ、ミケランジェロが携わった。
- (d) スペインの「メリダの遺跡群」は、ローマの最大版図を築いた五賢帝のトラヤヌス帝の凱旋門で有名である。

問4 下線部④に関連して、ルイ14世に関する記述として誤っているものを1つ選びなさい。なお、該当するものがない場合は(e)を選びなさい。

- (a) 幼少期にはマザランが宰相をつとめ、親政を開始すると王権神授説を奉じ、「朕は国家なり」と称した。
- (b) カトリックによる信仰の統一をはかるためナントの王令を廃止したが、ユグノーの商工業者が国外へ逃れたため、フランス経済は打撃を受けた。
- (c) スペインでハプスブルク家が断絶すると、孫をフェリペ5世としてスペイン王位につけ、スペイン継承戦争を招いた。
- (d) 聖職者への課税をめぐる教皇と争い、聖職者・貴族・平民の代表からなる全国三部会（三部会）を初めて開催した。

問5 下線部⑤に関連して、ムガル帝国に関する記述として誤っているものを1つ選びなさい。なお、該当するものがない場合は(e)を選びなさい。

- (a) カーブルを拠点としたバーブルは、デリー=スルタン朝最後のロディー朝を破ってデリーを占領し、ムガル帝国の基礎を築いた。
- (b) 第3代皇帝のアクバルはヒンドゥー教徒に対して融和政策をとり、非イスラーム教徒に課されていた人頭税（ジズヤ）を廃止した。
- (c) イランから入ってきた写本絵画（細密画）がインドの伝統的様式と融合し、ムガル絵画が発展した。
- (d) 公用語としてペルシア語が用いられ、ペルシア語に北インドの地方語がまざったスワヒリ語が誕生した。

問6 下線部⑥に関連して、次の写真に関する記述として正しいものを1つ選びなさい。なお、該当するものがない場合は(e)を選びなさい。



(出典：『詳説世界史』山川出版社，2024，p. 61)

【出典】サイネットフォト

- (a) この写真はジャワ島のボロブドゥールで、当初はヒンドゥー寺院として建立されたが、のちに仏教寺院に改修された。
- (b) この写真は仏教寺院として建立されたジャワ島のボロブドゥールで、回廊にはさまざまな浮き彫りがほどこされている。
- (c) この写真はカンボジアのアンコール=ワットで、当初はヒンドゥー寺院として建立されたが、のちに仏教寺院に改修された。
- (d) この写真は仏教寺院として建立されたカンボジアのアンコール=ワットで、回廊にはさまざまな浮き彫りがほどこされている。

問7 下線部⑦に関連して、長城に関する記述として誤っているものを1つ選びなさい。なお、該当するものがない場合は(e)を選びなさい。

- (a) 中国を初めて統一した秦の始皇帝は、戦国時代以来の長城を修築し、北辺の守りを固めた。
- (b) 前漢の武帝は、匈奴を挟撃するため長城北方に勢力を広げていた大月氏に張騫を派遣し、同盟交渉を成功させた。
- (c) 明代には北方民族の侵入に備えるため長城が修築されたが、モンゴルのアルタン=ハーンが長城をこえて中国に侵入した。
- (d) 長城東端に位置する山海関を守っていた明の武将呉三桂は、李自成の乱で明が滅亡すると清に帰順し、山海関を開いて清軍を先導した。

問8 下線部⑧に関連して、アメリカ独立戦争に関する記述として誤っているものを1つ選びなさい。なお、該当するものがない場合は(e)を選びなさい。

- (a) イギリス政府が植民地への課税と統治の強化をはかり、印紙法を制定すると、植民地側は「代表なくして課税なし」と主張した。
- (b) トマス=ジェファソンは、『コモン=センス』（『常識』）という小冊子を出版し、植民地の人々の独立の気運を高めた。
- (c) ポーランドのコシューシコ（コシチューシコ）やフランスのラ=ファイエットは、義勇兵として植民地側について参加した。
- (d) ヨークタウンの戦いでイギリスに勝利した植民地側は、イギリスと結んだパリ条約によって独立が認められた。

問9 下線部⑨に関連して、奴隷貿易や奴隷制に関する記述として誤っているものを1つ選びなさい。なお、該当するものがない場合は(e)を選びなさい。

- (a) アフリカに拠点を持たなかったスペインは、アシエントとよばれる奴隷供給請負契約をポルトガルやイギリスなどと結んだ。
- (b) 17～18世紀には、アメリカ大陸産の砂糖や綿花がヨーロッパに運ばれ、ヨーロッパの工業製品がアフリカに輸出され、西アフリカからアメリカ大陸に奴隷が運ばれた。
- (c) アメリカ合衆国では、19世紀半ばにストウが小説『アンクル=トムの小屋』を著し、奴隷制を批判した。
- (d) アメリカ合衆国では、公民権法が成立したことによって正式に奴隷制が廃止された。

問10 下線部⑩に関連して、第二次世界大戦中の日本に関する記述として誤っているものを1つ選びなさい。なお、該当するものがない場合は(e)を選びなさい。

- (a) 日本は、フランスの敗北に乗じてフランス領インドシナ北部へ進駐し、翌年にはフランス領インドシナ南部へ進駐した。
- (b) 日本はハワイの真珠湾（パールハーバー）にあるアメリカ海軍基地を攻撃し、アメリカ合衆国とイギリスに宣戦した。
- (c) 日本はマレー半島やシンガポール、フィリピンなど東南アジアの国々を占領し、支配を正当化するため「大東亜共栄圏」というスローガンを掲げた。
- (d) 日本国内では、食料や生活必需品が不足すると配給制や切符制が導入され、女性や学生の勤労働員が行われた。

問11 下線部①に関連して、アフガニスタンに関する記述として誤っているものを1つ選びなさい。なお、該当するものがない場合は(e)を選びなさい。

- (a) イランから自立したアフガン人が、アフガニスタンでドゥッラーニー朝をおこした。
- (b) 第2次アフガン戦争の結果、アフガニスタンはロシアの実質的な保護国とされたが、第3次アフガン戦争を経て独立した。
- (c) ソ連のブレジネフ政権はアフガニスタンに軍事侵攻し、親ソ派政権を樹立したが、「新冷戦」(「第2次冷戦」)を招いた。
- (d) 同時多発テロ事件後、テロを起こしたアル=カーイダの根拠地であったアフガニスタンは、アメリカ軍によって攻撃された。

II 次の文章を読んで、下記の設問に答えなさい。(34点)

1300年頃、アナトリア（小アジア）北西部ではオスマンによってオスマン帝国の基礎が築かれた。オスマン帝国は14世紀にバルカン半島に進出し、アドリアノーブル（エディルネ）を首都とした。Aの時代には、ドナウ川以南の地を確保したが、1402年に起こったアンカラの戦いでティムール朝軍に敗れてAはティムール朝軍の捕虜となった。オスマン帝国は打撃を受けたが再建され、Bの治世期の1453年にはビザンツ帝国を滅ぼして首都をコンスタンティノーブル（のちのイスタンブル）に移した。その後、オスマン帝国は1514年にアナトリア東部で行われたCでサファヴィー朝を破り、1517年にマムルーク朝を滅ぼしてシリアとエジプトを併合した。さらに両聖都メッカ（マッカ）とメディナを保護下においたことで、オスマン帝国はスナ派イスラーム世界の盟主となった。オスマン帝国は1520年に即位したスレイマン1世の時代に最盛期をむかえた。スレイマン1世はハンガリーを征服し、東方ではサファヴィー朝からイラク南部を奪った。オスマン帝国は、スレイマン1世の死後の1571年に起こったDでスペインやヴェネツィアなどの連合艦隊に敗れたものの、地中海の制海権を維持した。17世紀に入ると領土の拡大が止まり、イエニチェリがしばしば反乱を起こすなど国内支配に動揺がみられたが、オスマン帝国は勢力を維持した。しかし、1683年の第2次ウィーン包囲に失敗すると、1699年のEによってハンガリーをオーストリアに割譲するなど、ヨーロッパ諸国に対して守勢に回ることが増えた。18世紀に入るとアーヤーンとよばれる地方有力者が軍事力を備えて台頭した。18世紀後半には、アーヤーンの兵力を使ってロシアのエカチェリーナ2世と戦ったが、敗れてクリミア半島の支配権を失った。この敗北によってオスマン帝国では西欧式の軍隊をつくる試みが始められたが、旧勢力の反対によって一時は挫折した。

19世紀になると、オスマン帝国領内ではエジプトの自立やバルカン地域の独立運動が起こり、列強の干渉を招くこととなった。このような国際的諸問題は、ヨーロッパ側からみて「東方問題」とよばれる。一方、国内では軍事制度の改革が進められ、

イエニチェリ軍団が廃止されて西欧式の軍隊が創設された。また、アーヤーンの勢力が一扫され、中央集権化が進められた。1839年からはタンジマートとよばれる西欧化改革が開始されたが、地方社会の反発や財政難によって難航した。改革のさなかに始まったクリミア戦争では、オスマン帝国はイギリスやフランスの支援を受けて勝利したが、その戦費によって財政難に陥った。1876年には大宰相ミドハト=パシャの起草によるミドハト憲法（オスマン帝国憲法）が発布されたが、1877年に始まったロシア=トルコ（露土）戦争を口実として1878年に憲法は停止された。これに対し、近代的な教育を受けた知識人の間では、憲法の復活をめざす動きが起こった。「青年トルコ人」とよばれる人々は、「統一と進歩団」を組織してスルタンによる専制政治を批判し、1908年に反乱を起こして憲法を復活させた（青年トルコ革命）。オーストリアはこの革命に乗じてボスニア・ヘルツェゴヴィナを併合し、その後のイタリア=トルコ戦争やバルカン戦争の影響でオスマン帝国は不安定となった。

第一次世界大戦が勃発すると、オスマン帝国は同盟国側について参戦した。戦争は予期せぬ長期戦となり、イギリスはオスマン帝国の背後をかく乱するために戦時外交を展開したが、これは今日まで続くパレスチナ問題の原因をつくることとなった。第一次世界大戦後、敗戦国となったオスマン帝国は1920年に F を協商国（連合国）と結び、領土の分割が決定された。これに対して軍人のムスタファ=ケマルは抵抗運動を指導し、1922年にスルタン制を廃止した。これによってオスマン帝国は滅亡し、翌年にはトルコ共和国が成立した（トルコ革命）。

【設問Ⅰ】 ・ に入る適切な人物名を選択肢(a)～(e)から1つずつ
選びなさい。なお、同じ記号には同じ人物名が入る。

- (a) バヤジット1世
- (b) メフメト2世
- (c) マフムト2世
- (d) セリム1世
- (e) アブデュルハミト2世

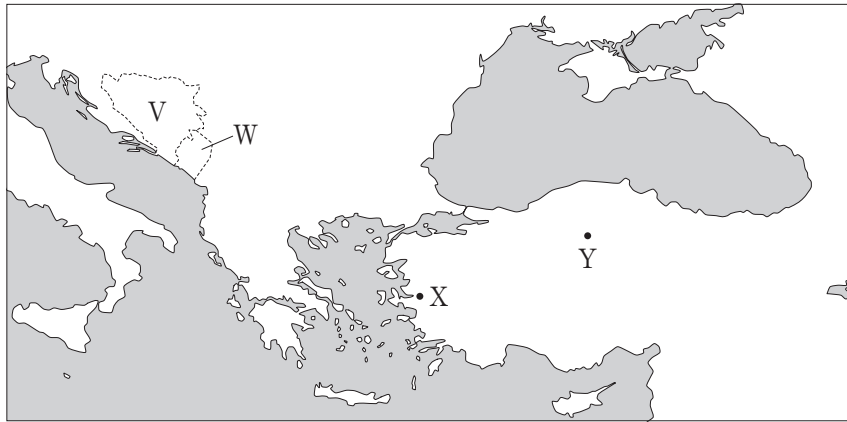
【設問Ⅱ】 ・ に入る適切な語句を選択肢(a)～(e)から1つずつ選
びなさい。

- (a) ニコポリスの戦い
- (b) モハーチの戦い
- (c) チャルディラーンの戦い
- (d) プレヴェザの海戦
- (e) レパントの海戦

【設問Ⅲ】 ・ に入る適切な語句を選択肢(a)～(e)から1つずつ選
びなさい。

- (a) トルコマンチャーイ条約
- (b) セーヴル条約
- (c) トリアノン条約
- (d) カルロヴィッツ条約
- (e) スイイ条約

【設問Ⅳ】 波線部(i)「アンカラ」と波線部(ii)「ボスニア・ヘルツェゴヴィナ」の正しい位置を、地図上のV～Yから選んで正しく組み合わせたものを1つ選びなさい。



- (a) アンカラ—X ボスニア・ヘルツェゴヴィナ—V
- (b) アンカラ—X ボスニア・ヘルツェゴヴィナ—W
- (c) アンカラ—Y ボスニア・ヘルツェゴヴィナ—V
- (d) アンカラ—Y ボスニア・ヘルツェゴヴィナ—W

【設問Ⅴ】 下線部①～⑩に関する以下の問に答えなさい。

問1 下線部①に関連して、バルカン半島に建国した民族に関する記述として正しいものを1つ選びなさい。なお、該当するものがない場合は(e)を選びなさい。

- (a) トルコ系のブルガール人は、バルカン半島北部にブルガリア帝国（ブルガリア王国）を建て、ギリシア正教を受容した。
- (b) リューリクを首領とするノルマン人の一派（ルーシ）は、ドナウ川流域のスラヴ人地域に進出してノヴゴロド国を建てた。
- (c) アジア系のフン人は、パンノニア平原を中心に大帝国を建てたが、カイロネイアの戦いでローマとゲルマン人の連合軍に敗れた。
- (d) 南スラヴ人の代表的民族であるセルビア人はカトリックを受容し、バルカン半島北部に王国を建てた。

問2 下線部②に関連して、ティムール朝に関する記述として誤っているものを1つ
選びなさい。なお、該当するものがない場合は(e)を選びなさい。

- (a) モンゴル部族出身のティムールは、チャガタイ=ハン国の内紛に乗じて勢力
を拡大し、ティムール朝を開いた。
- (b) 古くから東西交易の拠点として栄えたソグディアナの中心都市であるサマル
カンドは、ティムール朝の首都とされた。
- (c) 第4代君主のトゥグリル=ベクによって建設された天文台では、天文観測が
行われて精緻な暦がつくられた。
- (d) ティムール朝を滅ぼしたトルコ系の遊牧ウズベク（ウズベク人）は、ブハラ
（ボハラ）=ハン国やヒヴァ=ハン国を建てた。

問3 下線部③に関連して、ビザンツ帝国に関する記述として誤っているものを1つ
選びなさい。なお、該当するものがない場合は(e)を選びなさい。

- (a) ユスティニアヌス1世（大帝）は、トリボニアヌスらに命じてローマ法を集
大成した『ローマ法大全』を編纂させた。
- (b) ビザンツ帝国の皇帝はコンスタンティノーブル教会を支配下におき、ギリシ
ア正教会に大きな影響力があった。
- (c) 7世紀には、管区の長官が軍事・行政の権限を担う軍管区制（テマ制）がし
かれた。
- (d) ドームとモザイク壁画を特徴とするビザンツ様式が生まれ、北イタリアのラ
ヴェンナにはビザンツ様式のサンタ=マリア大聖堂が建てられた。

問4 下線部④に関連して、サファヴィー朝に関する記述として誤っているものを1つ選びなさい。なお、該当するものがない場合は(e)を選びなさい。

- (a) 神秘主義（スーフィズム）を掲げるサファヴィー教団の教主イスマーイールによってサファヴィー朝が建てられた。
- (b) サファヴィー朝の支配者はイランの伝統的王号であるシャーの称号を用い、シーア派の最大宗派であるワッハーブ派を国教とした。
- (c) イラン中部に造営された新たな首都であるイスファハーンにはイマームのモスクなどが建設され、「イスファハーンは世界の半分」と表現された。
- (d) アッバース1世は軍政改革によって王直属の銃兵隊と砲兵隊を新設し、サファヴィー朝の最盛期を現出した。

問5 下線部⑤に関連して、マムルーク朝に関する記述として正しいものを1つ選びなさい。なお、該当するものがない場合は(e)を選びなさい。

- (a) ファーティマ朝を滅ぼしたクルド人の武将サラフ=アッディーン（サラディン）によってマムルーク朝が建てられた。
- (b) フレグ（フラグ）率いるモンゴル軍の撃退に戦功があった第5代スルタンのバイバルスは、十字軍勢力を撃退した。
- (c) 都のカイロには「知恵の館」が設立され、アリストテレスの哲学など多くのギリシア語文献がアラビア語に翻訳された。
- (d) 宰相として行財政改革を実施したラシード=アッディーンは、ユーラシア全般の世界史である『集史』を編纂した。

問6 下線部⑥に関連して、スレイマン1世に関する記述として誤っているものを1つ選びなさい。なお、該当するものがない場合は(e)を選びなさい。

- (a) 神聖ローマ皇帝カール5世がおさめるオーストリアのウィーンに進軍し、ヨーロッパ諸国を脅かした。
- (b) イスラーム法（シャリーア）を補完するカーヌーンとよばれるスルタンの法を体系化し、「立法者」と称された。
- (c) 建築家のシナン（スイナン）に命じ、オスマン建築を代表するスレイマン＝モスクを建造させた。
- (d) 支配者層の組織化をはかり、官僚の位階に応じて維持すべき騎兵や給与を定めるマンサブダール制を導入した。

問7 下線部⑦に関連して、エカチェリーナ2世に関する記述として正しいものを1つ選びなさい。なお、該当するものがない場合は(e)を選びなさい。

- (a) 領土の拡大につとめ、プロイセン・オーストリアとともにポーランドを分割した。
- (b) バルト海地域への進出をはかってバルト海沿岸に新首都ペテルブルクを建設し、北方戦争でスウェーデンと戦った。
- (c) 国境地帯のコサックを支援し、コサックの首領イェルマークに命じてシベリア進出に着手した。
- (d) 農奴解放令を發布して農奴に人格的自由を認めたが、農地の多くはミール（農村共同体）に引き渡された。

問 8 下線部⑧に関連して、近現代のエジプトに関する記述として誤っているものを1つ選びなさい。なお、該当するものがない場合は(e)を選びなさい。

- (a) ナポレオンの遠征軍が撤退した後、軍人のムハンマド=アリーが民衆の支持を得てエジプト総督となり、富国強兵策を進めた。
- (b) シリアの領有を求めてオスマン帝国と2度にわたるエジプト=トルコ戦争を戦ったが、ヨーロッパ列強の介入を招いた。
- (c) フランスのレセップスの提案によって地中海と紅海を結ぶスエズ運河を建設したが、建設費などによってエジプトは財政難となった。
- (d) 第二次世界大戦後、ナセルを中心とする自由将校団はエジプト革命によって王政を打倒し、エジプト共和国を樹立した。

問 9 下線部⑨に関連して、パレスチナ問題に関する記述として誤っているものを1つ選びなさい。なお、該当するものがない場合は(e)を選びなさい。

- (a) 第一次世界大戦後、旧オスマン帝国領のアラブ地域は委任統治という名目で戦勝国に配分され、パレスチナはフランスの委任統治領とされた。
- (b) 第二次世界大戦後、国際連合総会で決議されたパレスチナ分割案により、パレスチナにユダヤ人国家のイスラエルが建国された。
- (c) 第3次中東戦争によってイスラエルに占領されたシナイ半島は、エジプト=イスラエル平和条約締結後にエジプトに返還された。
- (d) イスラエル占領下のパレスチナでは、パレスチナ人がインティファダと呼ばれる抵抗運動を展開した。

問10 下線部⑩に関連して、トルコ革命に関する記述として誤っているものを1つ選びなさい。なお、該当するものがない場合は(e)を選びなさい。

- (a) トルコ語の表記において、アラビア文字からローマ字に改める文字改革が行われた。
- (b) カリフ制の廃止やイスラーム教の非国教化など、国家の世俗化（政教分離）がはかられた。
- (c) 女性の外衣（チャドル）を廃止するなど女性解放が進められ、世界初となる女性参政権を実現した。
- (d) 近代化の一環として太陰暦であるイスラーム暦（ヒジュラ暦）が廃止され、太陽暦が採用された。

Ⅲ 次の文章を読んで、下記の設問に答えなさい。(32点)

ナポレオンの保護下におかれた西南ドイツ諸国が1806年にライン同盟を結成したのを機に、神聖ローマ帝国は消滅した。1807年のティルジット条約により多くの領土を失ったプロイセンでは、やハルデンベルクらの指導によって農民解放を中心とするプロイセン改革が進められた。フランス革命とナポレオンによる一連の戦争によって生じた混乱を收拾するため、1814年からウィーン会議が開催された。ウィーン会議ではフランス革命以前の王朝を正統とする正統主義が基本原則とされたが、神聖ローマ帝国は復活せず、ドイツでは35君主国と4自由市からなるドイツ連邦が形成された。ウィーン会議によってもたらされたヨーロッパの国際秩序はウィーン体制^①とよばれる。1848年にフランスで起こった二月革命がオーストリアやプロイセンに波及すると、オーストリアの首都ウィーンとプロイセンの首都ベルリンで三月革命が起こり、ウィーン体制は崩壊することとなった。同年5月にはフランクフルトで国民議会が開かれ、全ドイツの代表が憲法制定とドイツの統一^②について議論した。

19世紀後半になると、プロイセン王ヴィルヘルム1世によって首相に任命されたビスマルク^③の主導により、ドイツの国家統一が進められた。1871年にドイツ統一は完成し、ヴィルヘルム1世がドイツ皇帝となってドイツ帝国が成立した。帝国宰相となったビスマルクは帝国の国民統合をはかり、対外的にはフランスの孤立をはかってビスマルク体制とよばれる安全保障体制をとった。しかし、ビスマルクは1888年に即位した新皇帝ヴィルヘルム2世^④と対立し、1890年に辞職した。ヴィルヘルム2世は「世界政策」とよばれる帝国主義政策を展開し、アジアやアフリカ^⑤などに進出した。このようなドイツの対外進出を警戒するイギリス・フランス・ロシアは三国協商を形成し、ドイツ・オーストリアを中心とする三国同盟と対立した。こうしてヨーロッパ列強は2つの陣営に分かれ、1914年には第一次世界大戦が引き起こされた。開戦直後、ドイツはフランス軍に進撃を阻止され、以後西部戦線は膠着^{こうちやく}して塹壕^{ざんこう}戦へと移行した。東部戦線では1914年のでドイツ軍はロシア軍を撃破した。これによって戦線は拡大し、戦争は長期化した。1917年、ドイツが無制限潜水艦作戦を宣

言すると、アメリカ合衆国は協商国（連合）側について参戦し、戦争の帰趨^{きすう}に大きな影響を及ぼした。1918年3月、ドイツはソヴィエト政権と を結んだ。11月に起こったキール軍港の水兵反乱をきっかけとしてドイツ革命が起こるとヴェルヘルム2世は亡命し、臨時政府は休戦協定を結んで第一次世界大戦は終結した。

1919年、パリ講和会議が開催され、ドイツは連合国と賠償金の支払いや植民地の放棄などを内容とするヴェルサイユ条約を締結した。同年に開かれたヴァイマル国民議会は憲法制定に着手し、ヴァイマル憲法が制定された。これ以降のドイツはヴァイマル共和国とよばれる。1923年、ドイツの賠償金支払い遅延を口実としてフランス・ベルギーがルールを占領すると、ドイツはストライキによって抵抗したため、経済に打撃を受けてインフレが進行した。首相となった は新紙幣レンテンマルクを発行し事態の收拾をはかった。その後、外相となった は1925年に を締結し、これによって翌年にドイツの国際連盟加入が実現して1920年代後半には国際協調の気運が高まった。しかし、世界恐慌が起こると、社会不安を背景として、ヒトラー率いるナチス（国民社会主義ドイツ労働者党）が台頭し、1932年に第一党に躍進すると、翌年の1933年にはヒトラー内閣が成立した。政権を掌握したヒトラーは全権委任法によって一党独裁体制を確立し、同年に国際連盟から脱退した。ドイツは、ムッソリーニによって独裁体制がすでに確立されていたイタリアおよび軍国主義を強める日本と接近し、三国枢軸を形成した。1939年ドイツのポーランド侵攻を契機に第二次世界大戦が勃発し、1941年には独ソ戦が開始された。1942～43年の でドイツが敗北したことが転換点となり、以後ドイツは守勢に回って、1945年5月に無条件降伏した。

第二次世界大戦後、ドイツは米英仏ソの4か国によって分割管理された。東西陣営の対立を背景として、1949年にはドイツ連邦共和国（西ドイツ）とドイツ民主共和国（東ドイツ）が成立し、ドイツは東西に分断された。西ドイツは奇跡的な経済復興を成し遂げ、ヨーロッパ共同体（EC）で重要な地位を占めるようになった。1989年、東欧諸国で民主化が進展すると、1990年に西ドイツの主導による東西ドイツの統一が実現した。

【設問Ⅰ】 ・ に入る適切な人物名を選択肢(a)～(e)から1つずつ
選びなさい。なお、同じ記号には同じ人物名が入る。

- (a) シュタイン
- (b) シュトレゼマン
- (c) フィヒテ
- (d) エーベルト
- (e) ベルンシュタイン

【設問Ⅱ】 ・ に入る適切な語句を選択肢(a)～(e)から1つずつ選
びなさい。

- (a) マルヌの戦い
- (b) ワールシュタットの戦い
- (c) ワーテルローの戦い
- (d) タンネンベルクの戦い
- (e) スターリングラードの戦い

【設問Ⅲ】 ・ に入る適切な語句を選択肢(a)～(e)から1つずつ選
びなさい。

- (a) ユトレヒト条約
- (b) ローザンヌ条約
- (c) ロカルノ条約
- (d) サン=ジェルマン条約
- (e) ブレスト=リトフスク条約

【設問Ⅳ】 下線部①～⑩に関する以下の問に答えなさい。

問1 下線部①に関連して、ウィーン体制やウィーン体制期に起こった出来事に関する記述として誤っているものを1つ選びなさい。なお、該当するものがない場合は(e)を選びなさい。

- (a) ウィーン体制は、ロシア皇帝が提唱した神聖同盟や、イギリス・ロシア・プロイセン・オーストリアが参加した四国同盟によって支えられた。
- (b) ドイツでは、大学生組合であるブルシェンシャフトが憲法制定と国家統一を求めたが、メッテルニヒによって鎮圧された。
- (c) イタリアでは、秘密結社のカルボナリが結成され、1820年代に「未回収のイタリア」の回復を要求する運動の中心となったが、鎮圧された。
- (d) ロシアでは、皇帝ニコライ1世の即位に際して青年貴族士官によるデカブリスト（十二月党员）の乱が起こったが、鎮圧された。

問2 下線部②に関連して、19世紀のドイツ統一をめぐる動きに関する記述として誤っているものを1つ選びなさい。なお、該当するものがない場合は(e)を選びなさい。

- (a) 歴史学派の経済学者リストの尽力により、プロイセンの主導でドイツ関税同盟が結成され、オーストリアを除くドイツの経済的統一が達成された。
- (b) プロイセンはオーストリアと結んでデンマークと戦い、シュレスヴィヒ・ホルシュタインを奪った。
- (c) プロイセン=オーストリア（普墺）戦争後、ドイツ連邦を解体して北ドイツ連邦が結成された。
- (d) ドイツ=フランス（独仏）戦争（プロイセン=フランス戦争）中、ドイツはローマ教皇領を占領した。

問3 下線部③に関連して、ビスマルクに関する記述として正しいものを1つ選びなさい。なお、該当するものがない場合は(e)を選びなさい。

- (a) 文化闘争によって、反プロイセン感情の強い南ドイツのプロテスタント勢力を抑圧した。
- (b) 社会主義者鎮圧法を制定してドイツ共産党を弾圧する一方で、社会保険制度を整備した。
- (c) 同盟網を構築してドイツ・オーストリア・ロシアと三帝同盟を結び、イギリスと再保障条約を結んだ。
- (d) ロシア=トルコ（露土）戦争の結果にイギリス・オーストリアが反発すると、ベルリン会議を開催して諸国間の調停をはかった。

問4 下線部④に関連して、ヴィルヘルム2世に関する記述として誤っているものを1つ選びなさい。なお、該当するものがない場合は(e)を選びなさい。

- (a) 下関条約で日本が遼東半島を獲得すると、フランスとロシアとともに日本に対して遼東半島の返還を勧告した。
- (b) ジャワ島を中心に強制裁培制度（政府栽培制度）を導入してコーヒーやサトウキビなどの商品作物を栽培させ、莫大な利益を得た。
- (c) ベルリン・ビザンティウム（イスタンブル）・バグダードを鉄道で連結する3B政策を展開した。
- (d) フランスによるモロッコ支配に反発し、2度にわたるモロッコ事件を起こした。

問5 下線部⑤に関連して、列強のアフリカ進出に関する記述として誤っているものを1つ選びなさい。なお、該当するものがない場合は(e)を選びなさい。

- (a) イギリスはギニア湾岸のリベリアを保護国とし、スーダンのマフディー運動を鎮圧した。
- (b) フランスは北アフリカのチュニジアを保護国とし、アフリカ北西部から中央部へ横断する政策を進めた。
- (c) 探検家のスタンリーを支援したベルギーは、ベルギー国王の私有領としてコンゴ自由国を成立させた。
- (d) ソマリランドやエリトリアを植民地としたイタリアは、エチオピアに侵攻したが、アドワの戦いで敗れて後退した。

問6 下線部⑥に関連して、ドイツの賠償金支払いをめぐる動きに関する記述として誤っているものを1つ選びなさい。なお、該当するものがない場合は(e)を選びなさい。

- (a) アメリカ合衆国の銀行家ドーズを議長とする専門委員会が採択したドーズ案では、賠償金の支払い期間が延長され、アメリカ資本のドイツ流入が進んだ。
- (b) アメリカ合衆国の銀行家ヤングが指導する委員会により成立したヤング案では、賠償金の支払い総額が大幅に減額された。
- (c) 世界恐慌後、アメリカ合衆国大統領フーヴァーは、賠償・戦債支払いを1年間停止するフーヴァー=モラトリウムを宣言した。
- (d) ローザンヌ会議では、賠償総額は30億金マルクに減額されたが、ドイツのヒトラー政権は不払いを宣言した。

問7 下線部⑦に関連して、1930年代の日本に関する記述として誤っているものを1つ選びなさい。なお、該当するものがない場合は(e)を選びなさい。

- (a) 国民革命軍が北京にせまると、田中義一内閣は日本人居留民保護を口実として3度にわたる山東出兵を行った。
- (b) 柳条湖事件をきっかけとして満洲事変を起こし、清朝最後の皇帝であった溥儀を執政として満洲国を建てた。
- (c) 五・一五事件によって犬養毅首相が暗殺されて政党政治が崩壊し、二・二六事件によって軍国主義体制が強まった。
- (d) 盧溝橋事件をきっかけとして日中関係が悪化し、宣戦布告のないまま日中戦争に突入した。

問8 下線部⑧に関連して、ドイツ連邦共和国（西ドイツ）とドイツ民主共和国（東ドイツ）に関する記述として誤っているものを1つ選びなさい。なお、該当するものがない場合は(e)を選びなさい。

- (a) ドイツ連邦共和国（西ドイツ）は、パリ協定の発効により主権を回復し、北大西洋条約機構（NATO）に加盟して再軍備を進めた。
- (b) ドイツ民主共和国（東ドイツ）は、東ベルリンから西ベルリンへの亡命を防ぐため、ベルリンの壁を建設した。
- (c) ドイツ連邦共和国（西ドイツ）のブランド首相が展開した東方外交の結果、ドイツ連邦共和国（西ドイツ）とソ連の国交が回復した。
- (d) 東西ドイツの関係正常化を承認した東西ドイツ基本条約が結ばれた翌年、東西ドイツの国際連合同時加盟が実現した。

問9 下線部⑨に関連して、ヨーロッパの地域統合をめぐる動きに関する記述として誤っているものを1つ選びなさい。なお、該当するものがない場合は(e)を選びなさい。

- (a) フランスのシューマンが提唱したシューマン=プランを受けて、ヨーロッパ石炭鉄鋼共同体（ECSC）が発足した。
- (b) フランス・西ドイツ・イタリア・ベネルクス3国（ベルギー・オランダ・ルクセンブルク）は、ヨーロッパ原子力共同体（EURATOM）を発足させた。
- (c) イギリスは、ヨーロッパ経済共同体（EEC）に対抗してヨーロッパ自由貿易連合（EFTA）を結成した。
- (d) ヨーロッパ共同体（EC）は、西ヨーロッパ連合条約（ブリュッセル条約）の発効によってヨーロッパ連合（EU）へと発展した。

問10 下線部⑩に関連して、東欧諸国の動きに関する記述として正しいものを1つ選びなさい。なお、該当するものがない場合は(e)を選びなさい。

- (a) チェコスロヴァキアでは、「諸国民の春」とよばれる民主化運動が起こったが、ワルシャワ条約機構軍の介入を受けた。
- (b) ハンガリーでは複数政党制が導入され、ペレストロイカ（改革）やグラスノスチ（情報公開）をスローガンとして自由化が進められた。
- (c) ポーランドでは、合法化された自主管理労組「連帯」が選挙で圧勝し、ワレサが大統領に就任した。
- (d) ルーマニアでは、反政府運動の中で独裁体制をしいていたティトー大統領が処刑された。

